

ユウ

2011年 夏

平成23年7月25日発行 (第10号)

ユージュ

「YUJ」とは「瑜伽」とも書き、サンスクリット語で、「結ぶ、繋ぐ」を意味します。

YUJを手にとった方とお寺が良い縁で結ばれますよう。

<http://www.kagawa-konzouji.or.jp/yuj@kagawa-konzouji.or.jp>



乃木神社

明治天皇に殉じた希典の心にあったものとは何か

明治天皇と共に

大正元年(一九一二年) 九月

十三日午後八時、闇夜を切り裂く弔砲とともに、数十万もの市民が見守る中、明治天皇の御靈輻が青山葬場へ向けて皇居を発しました。乃木希典は、病気の届けを出し、御大葬には参列し

ませんでした。

赤坂の乃木邸では、晩餐後、希典と妻の静子は居室に籠もっていました。静子はたびたび降りてきては、女中達に「今日は生涯またとない日だから、早く支度をして拝観に出かけなさい。」と急ぎ立て、勧められるままに書生も馬丁も出かけいきました。乃木邸に残ったのは、

体が不自由であった静子の姉のサダ子、その孫ひで子と、気が進まなかった女中二人でした。七時半も過ぎた頃、二階より降りてきた静子は、ブドウ酒を戸棚からだし、ひで子と言葉をかわして二階へ戻りました。午

後八時になり、皇居より弔砲がしめやかに響いてきます。

突如、二階の居室の物音と共に静寂が破れ、夫人の声が階下へと聞こえ、一言二言が続ぎ、再び静寂が訪れました。それも束の間、圧迫されるような気味の悪い響きが起り、絶え入るような呼吸の音がかすかに聞こえ、階下にいる者達を一同に不安に陥れました。

静子の死を予感していたのか、サダ子は女中に支えられ二階へ上がり、「希典さん、希典さん、静子に不調法がありましたら、私がお詫びいたします。お許しください。」と涙声で呼びかけ



乃木神社 (善通寺市)

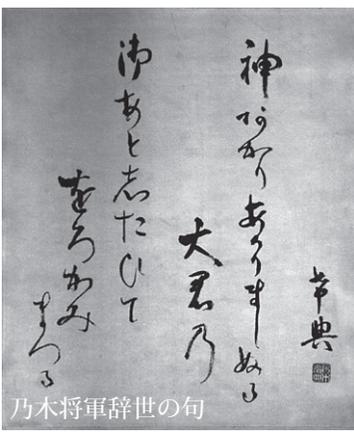
ました。鍵をかけられた居室から「ごめん下さい」という希典の声がかすかに聞こえました。

やがて、大きなものが倒れる音と共に、重苦しい呼吸が聞こえ、それも絶え絶えになつていきました。ただ事ではないと察知したひで子は、警察官に電話し、付近を警戒していた警察により、希典と静子の死亡が確認されました。希典六十四歳、静子五十四歳でした。

殉死の理由

この死に際して、希典は辞世の歌を二句残しています。

神あかり あかりましぬる



大君の みあとはるかに
をろかみまつる

うつし世を 神さりましし

大君の みあとしたひて

我はゆくなり

明治天皇が現世を去り、天界へと昇られるその跡を慕い、付き従つていこうという希典の忠誠心をありありと感じることができません。

静子も一句残しています。

出でまして かへります日の

なしときく けふの御幸に

逢ふそかなしき

まさに、明治天皇の御大葬の日に立ち会つた国民の気持ちを表す歌でありました。

希典は殉死の理由を次のように記しています。

「明治十年の役において軍旗を失い、その後、死処を得ようと心掛けたが、その機会も得られず、天皇の高恩によって、今まで過分の優遇を受けて、ただただ年ばかりを重ね、もはや

御役に立てる日も幾ばくもないと思つておりました。この度の御大変を受け、やっと死処を得た思いです。」

希典にとつて、西南戦争において、天皇より預かつた軍旗を喪失したことは、死をもつて償うほかないことでした。希典はその場で自刃しようとしたが、周りの者に止められ、戦場

は常に死処と定めた自分が生き、有望な青年たちの死を数多く目にしてきた希典の三十五年間は、孤独との戦いであつたに違いありません。それでも希典が生きることができたのは、明治天皇の御恩に應えるためでした。文字通り、希典は忠義のために生き、忠義のために死んだのです。

殉死の意義

殉死とは、主君の死に際し、臣下や家族がその死に殉じて自殺すること、東西を問わず封建社会で行われた風習でした。

日本においては、孝徳天皇の大化二年に禁止されましたが、武家時代に再び起こり、慶長（一五九六）以降ますます盛んになりました。徳川家康は厳にこれを禁止し、後に武家諸法度に組み込まれ、本格的な禁令となりましたが、武士は殉死を一種の道徳視していました。

希典は武人の理想像を、武士の精神に見いだしたのでしよう。希典はそれに近づぐべく努力し、その域に達しましたが、その希典が明治天皇の崩御に接し、とつた行動が殉死でありました。主君の死に殉じる、殉死こそが希典の描く理想的武人の忠義の体現でありました。

希典の殉死は、国内外問わず大きく報道され、誰もがその誠忠と武士道の発揮に賛嘆しましたが、宗教上の理由や国禁の立場より殉死に疑義を示したことも事実です。そのような情勢の中、イギリスの『ロンドンタイ

ムズ』の所説は次のようでした。

「陸軍大将乃木伯爵と伯爵夫人は、天皇の葬列の出発を告げる号砲が鳴り響いた瞬間に、短剣をもって自殺をとげた。御大

葬当日、乃木伯爵夫妻が自殺を決行したという知らせは、わが同盟国日本がその偉大さを負っている精神が、依然として生きつづけていることの驚嘆すべきしるしである。この精神のあら

われの、深刻かつ直截な感動に對して、西欧世界は、かりにその意味をのこりなく汲み尽くせぬまでも、静かに頭を垂れて敬意をあらわさねばならない。故乃木伯爵のような人々が明治の時代をつくったのであり、この時代は、乃木伯爵がその身を献じた大帝の崩御とともに、名実ともに過ぎ去ったのかも知れないのである。」

世界の列強各国が日本という国の存在を認める理由、それは希典が理想とした武士的精神そ

のものであり、この精神が希典夫妻の殉死という形で体现されたことに敬意を払うべきであり、そのことに疑義を挟むべきではない、との確に論断しました。

また国内の議論を収束させたのは、東京の日刊紙『万朝報』の全紙を埋めた黒岩涙香の「乃木將軍の自殺を聞きて」と題された論説でした。その大意は次のようでした。

「楠公（楠木正成）は、その死をもって南朝五十年の精神的支柱となった。楠公は肉体的勝利を捨て、精神的勝利を得るために、自害し果てたのである。その精神は絶えること無く、明治維新や日露戦争を戦ってきた日本軍を支え続けてきた。同じ乃木將軍の殉死も、千年万年も国民の精神そのものとなって生き続けるであろう。」

今日までは すぐれし人と 思ひしに 人と生まれし 神にぞありける」

乃木神社の創建

乃木夫妻殉死の報を聞いた国民は、衝撃とともに、感動に涙したことでしよう。翌十四日早朝より弔問に訪れる人々が乃木邸にひしめき、絶えることはありませんでした。

乃木夫妻の葬儀後、当時の東京市長であった阪谷芳郎は、乃木邸内の小社に乃木夫妻の御霊をお祀りし、毎年九月十三日には祭祀を齋行し、夫妻の精神を永世に伝えるため、青少年に研修会を行いました。後の中央乃木会となります。

大正八年（一九一九）には、乃木神社創健の許可が下り、大正十二年十一月一日に鎮座祭が齋行されました。

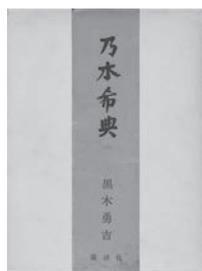
一般的に、仏教では「不殺生戒」があり、自分を殺すことも破戒であるといわれます。そのため、宗教上乃木夫妻の殉死を賛美することは、憚るべきだと

する風潮があることも事実です。しかし、仏教經典では、仏に供養するため、自身の身を捧げられることは最大の美德の一つに挙げられています。大切なのは、自分の命を大切なもののために捧げるといふ精神そのもの。これは、修養を重ねた人だけが達しうる境地でしょう。

生前より修養を重ねて理想的武人となった希典は、殉死によつてその精神を完成させました。その魂は神となり、現在も私たち日本人と共に生き続けているのだと思います。



『人物叢書 乃木希典』
松下芳男 吉川弘文館



『乃木希典』
黒木勇吉 講談社



今回は、ほうじ茶を使ったレシピなので、ほうじ茶についてお話ししましょう。

ほうじ茶とは、実は緑茶の一種で、他の緑茶の仕上げに高温で炒る工程を付け加えた、日本で独自に開発されたお茶です。そのため、カフェインが少なく、渋みの原因となるタンニンやカテキンも熱で破壊されるため、口当たりがまろやかになります。ほうじ茶に用いられる茶葉は、煎茶もありますが、やはり一般的にはほうじ茶といえば、番茶ばんちやを用いることが多いようです。

番茶といっても、実はいろいろ

るな種類の番茶があることをご存じでしょうか。その年一番最初に手摘みされた旬な茶葉でできた番茶、つまり一番茶。一番、二番と摘まれた後、秋口まで待つて摘まれた茶葉で作られる秋冬番茶あきふゆばんちや。あるいは製造工程で大きくて扁平な茶葉だけを選び分けて作つたいわゆる番外茶けいぶつちや。京番茶きやうばんちやや阿波番茶あわばんちやなど、その土地独自の栽培方法で、地元で消費されることを目的として作られた土着のお茶も番茶と呼ばれることがあります。

特に、地方特産の土着の番茶は、ほうじ茶に利用されることが多いようです。これは、遅い時期に摘まれた日常遣いのお茶は、渋みが強く、誤魔化すために炒つてほうじ茶にされたためで、結果として低価格で取り扱われ、広くお茶の間に浸透していったようです。いろいろな種類のほうじ茶を飲み比べてみるのも楽しそうですね。



recipe.07 ほうじ茶の豆乳プリン

【作り方】 1. てんさい糖とアガーを乾いた器に入れて混ぜておく。 2. 濃いめに淹れたほうじ茶に1を入れ、ダマにならないようにかき混ぜながら火にかける。 3. 沸騰したらさらに1分ほどかき混ぜて煮溶かす。 4. 同時に別の鍋で豆乳を温める。 5. 煮溶かした3を温めた豆乳に注ぎよく混ぜる。 6. 水で濡らした型に流し入れ冷やし固める。

【材料／4人】
豆乳…350ml、ほうじ茶（濃いめ）…200ml、砂糖…60g、アガー…10g（寒天でも代用できますが、その場合分量は半分ほどになります）



浜口育弘（文）
 浜口緑研究所代表。除草剤などで弱っていた「乃木將軍妻返しの松」を独自の研究によって元気な姿に戻す。連絡は、
 〒763-0065 香川県丸亀市塩屋町 2-16-17

Denny Horimizu（絵）
 生まれ育ちは金蔵寺。金倉寺にて月に1度、EmaFaceを展開。似顔絵、ウェルカムボード他、ご要望があれば承っています。
<http://www.moridukuri.cho-chin.com/>

—金倉寺本堂の脇に佇む「乃木將軍妻返しの松」、最近なんだか元気がなさそう。

●乃木將軍の名に負けんよう、あばれはつちやくにいかんかい。きうくん、そうはいつでも体力が入らんでのお。

●乃木さんマツだけやのうて日本中のマツが元気ない。乃木さんマツよ、植木屋ゴロハチと真劍勝負せんか。

—それから乃木さんマツとゴロハチの二人三脚の日々が始まりました。そして。

●乃木さんマツ、元気になったなあ。ずっと見よるけど、今までは乃木將軍いうイメージがさっぱりやった。

●そうや。乃木さんマツがいよいよ頭角を現して暴れ出したで。今まではしんどかったけど、今は葉の先まで気力十分や。

●あいたたた…これがホンマのマツの痛さや。痛いけど嬉しいなあ。涙が出るわ。

—それを見ていたお遍路さん。乃木さんマツを叩くとご利益があるのかと思ひ、トントントン。

●いたた…ああ、でもありがた。元気もろたわ。南無南無…
 ●そうか。これはオモロイことになるで！

—ゴロハチは何か思いついた様子。それから金倉寺の駐車場では、ゴロハチの姿がチラホラ見られるように。なにやら県外ナンバーのお遍路さんに声をかけてるようです。

●…マツの葉、送ってもらえんやろうか…ホンマかいな、ありがとうございます。

—日本中からお参りにくる四国霊場金倉寺。そんなお遍路さんに「松の葉を送って欲しい」とゴロハチはお願いしています。

●よっしゃ、これで日本中からマツの葉が集まったで。

—ゴロハチは早速、魔法の聴診器でマツの葉を調べました。するとどうでしょう。日本中のマ

ツが、「ゴロハチ、なんとかしてえや。」と訴えています。

●よっしゃ、まかしとき。せやけど日本中をワシ一人でこなすんは無理や。仲間が必要やで。

—そういうとゴロハチ、沖繩から埼玉まで、「日本の自然を元通りにせんか」と仲間を集めてまわりました。あつという間に十一人の仲間が集まりました。

●ワシを入れて十二人。えらい人がいっぱい集まったがな。せやけど、なんか足らん。このメンバーやと、ワシらの活動をみんなに伝える力がないのお。

—そう考えていたゴロハチ。乃木さんマツの力をもらおうと金倉寺にやって来ると、そこに十三人目の仲間がいました。

●似顔絵はいかがですか。
 ●そうや、ワシらに足りんなんは、彼女や。

—こうして、十三人の侍たちによる「日本の自然を元に戻す」活動は始まったのでした。



で形をかたどった現在のものへと変化していきました。

さて、この仏を供養する散華ですが、さらにルーツがあります。それは、古代インドの結婚式で、家族や友人は、新しく夫婦となった二人を囲い、いろとりどりの花をまき散らして祝福したといわれています。その際、夫婦を中心に右回りで三周するのですが、これは左手を外に向けるため。インドでは左手は不浄の手のため、祝福する人たちに向けることは許されなかったのです。

同じく法要でも、僧侶が行堂するときは、諸仏に左手を向けないように歩いていますので、注意してみてください。

近年では、散華は美術工芸品として、花弁の形や描かれる画などにこだわったものが増えてきています。また寺院固有のものもありますので、収集されるのともしろいかも知れません。

小僧さんの自習室



その九・円珍さん⑧

八ヶ月ほど天台山国清寺に滞在した円珍さんは、次に越州開元寺へと向かいました。ここでは円載と会う約束をしていましたが、現れたのは「今は参上できない」と告げる使者でした。

しかし、この越州の地で、良諱という良き師に出会い、天台の奥義を学びました。

大中九年（八五五）二月二十九日、円珍さん一行は、長安を目指して出発します。その道中で円載とも合流し、五月二十一日に長安門外の旅館に入りました。

円珍さんは、一足先に長安へ

入っていた円載に対して、長安城内に向いて師僧を探し求めたいと伝えましたが、「勝手に出歩いてはいけません」と足止めされてしまいました。

二十五日、通訳で同行していた丁満のみが長安城内に入り、散策していたところ、偶然にも玄法寺の法全阿闍梨に出会いました。丁満が地に伏して礼拝すると法全阿闍梨は怪しみましたが、ふと「円仁阿闍梨の通訳ではないか」と訪ねました。

丁満が「その通りです」と答えると、法全阿闍梨は「なぜ再びこの地に来たのか」と問い直し、それに対し丁満は「本国の師僧に従ってこの地に来ました」と答えました。

この二人の関係はまた次回。



『人物叢書 円珍』
佐伯有清 吉川弘文館

乃木夫妻百回忌

乃木將軍について、YUJ四号でも取り上げましたが、今回は、乃木夫妻の殉死とその意義について紹介しました。

人の死というのは、非常にデリケートな問題であり、ましてや殉死となると現代を生きる私

たちはもちろん、当時を生きの人たちも、乃木夫妻の心境を計りかねたことでしょう。しかし、この殉死に対して、感動と尊敬の念を抱くことは、今も昔も変わらないことだと思います。

乃木夫妻が殉死をされた大正元年（一九二二）九月一三日より、本年がちょうど百回忌（一九九九年）の年にあたります。



乃木夫妻の位牌

目）の年にあたります。

乃木將軍が善通寺第十一師團

長として、約三年間金倉寺に寓居していたことは、これまでにも何度か触れてまいりました。そのご縁もありまして、当寺では、乃木夫妻のお位牌を安置しております。

本年は乃木夫妻百回忌ということで、乃木夫妻百回忌法要を計画しています。日時は九月三日（土）午後六時より、例年の万灯会（先祖供養）法要に併せて執行したいと考えております。そこで、皆さまからの献灯（一口千円）も受付しています。ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

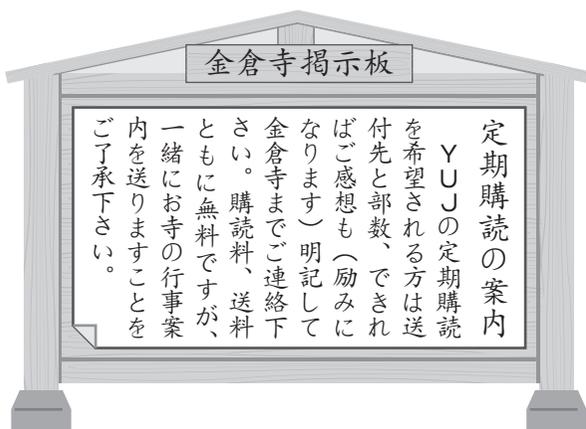
またかねてより問い合わせが多かった、乃木將軍が生活をされていた客殿の一般公開も行います。日時は九月三日（土）、十時から十六時、入場は無料です。この機会にぜひ金倉寺へご参拝ください。

大般若くぐり

九月三日（土）午後六時半より本堂前にて、「大般若くぐり」を行います。

この「大般若くぐり」とは、六百巻ある大般若経の下をくぐって、一年間の無病息災をお願いするものです。

近年なされませんでした、有志のご提案により、本年再会することができました。皆さまのご参拝お待ちしております。



■編集後記

哲濟 YUJもとうとう第十号！第一号発行よりちょうど三年。当時は四ページだった紙面も倍の八ページになって、なんとか続けてくれたねえ。

香祥 YUJ制作に協力いただいているゴロハチさん、Dennyちゃん、何より楽しみにしていただいている読者の皆さんのおかげです。

哲濟 目標は百号！あと二十三年ほどお付き合いいただければ……
香祥 そのためにも内容をさらに磨かんとね。次の号の取材頑張つてね。

哲濟 はい！行ってきます！
平成二十三年七月二十五日発行
編集・発行 金倉寺
発行人 村上法照
お問い合わせは
千七六五〇〇三二

香川県善通寺市金蔵寺町一一六〇
TEL〇八七七二一〇八四五
yuj@kagawa-konzouji.or.jp

おかるさん



現在の日本では、十組中。一組の夫婦が不妊症に悩んでいるといわれています。不妊症の原因はわからないことが多いのですが、それでも様々な研究の進歩により、数年前にはできなかった検査や治療が可能になってきました。

不妊かなと思ったときに、病院で診てもらおうかどうか、また治療となったときにどのステップまでを考えるのかは、それぞれの夫婦で話し合ってから決めることです。ただ、原因を医学的に解明できず、もしかたない、そんな時代に産まれてきてよかったな、と思えるようになればいいと思います。

また、周りの家族や友人は、そのような夫婦の現状に、とかく口をはさみがち。ただ、夫婦にはそれぞれの考えがあり、悩んでいる夫婦にとっては、たわいもない言葉がストレスになることもあります。時にはそつと見守る優しさも必要かも知れません。

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3 円珍乃木祭 先祖供養
4 円珍乃木祭 採燈護摩	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16 戌の日 訶利帝母縁日	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	戌の日	29	30	

九月 臍月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15 訶利帝母縁日	16
17	戌の日	19	20	21	22	23
24	25	26	27	護摩供	29	戌の日

七月 文月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	戌の日	11	12	13	14	15
16 訶利帝母縁日	17	18	19	20	21	戌の日
23 30	24 31	25	26	27 智証大師御祥忌	護摩供	29

十月 水無月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	戌の日	13	14
15	16 訶利帝母縁日	17	18	19	20	21
22	23 戌の日 地藏法要	24	25	26	27	28
護摩供 灯籠供養	29	30	31			

八月 文月



訶利帝母縁日

毎月16日午前10時から午後2時まで訶利帝堂内に参拝できます



不動尊護摩供

毎月28日午前11時から本堂にて護摩祈願を行います(9月は除く)



着帯戌の日

戌の日の午前11時と午後2時より安産祈願を行います(行事などによる変更あり)

※9月4日は大祭のため安産祈願はできません